

## 指定管理者評価表

様式1

## 1 基本情報

<b>(1) 公の施設の名称</b>	
堺市立西文化会館	
<b>(2) 施設の設置目的</b>	
市民文化の創造及び振興に寄与するため設置	
<b>(3) 所管部局</b>	
文化観光局 文化部 文化課	
<b>(4) 指定管理者名</b>	
大阪ガスビジネスクリエイト株式会社	
<b>(5) 指定期間</b>	
平成27年4月1日から平成32年3月31日まで（5年間）	
<b>(6) 主な事業</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること</li><li>・ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと</li><li>・施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること</li><li>・消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること</li><li>・市から貸与を受けた備品を適切に管理すること</li><li>・利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと</li><li>・自主事業に係る業務に関すること</li></ul>	
<b>(7) 有料施設の有無</b>	
有(利用料金制)	
<b>(8) 公募・非公募の別</b>	
公募	
<b>(9) 主な利用者</b>	<b>(10) 市内における受益対象者数</b>
市民	不特定多数
<b>(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標</b>	
アプラたかいし	

## 2 管理運営状況

## (1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

指定管理者の提案方針である「子どもたちをはじめ、市民一人ひとりが自分らしく文化芸術と関わる機会を大きく広げます」に基づき、子どもを対象とした事業の拡大や気軽に参加できる事業等に注力することで、多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供するとともに多くのリピーターを獲得することができた。

## (2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興 財団	大阪ガスビジ ネスクリエイ ト株式会社	大阪ガスビジ ネスクリエイ ト株式会社	大阪ガスビジ ネスクリエイ ト株式会社	大阪ガスビジ ネスクリエイ ト株式会社
ア 利用者数 (人)	115,167	123,021	123,883	111,405	/
イ 稼働率 (%)	63.5	64.5	69.5	70.1	
ウ 利用者満足度 (%)	97.3	97.5	99.6	99.3	
「利用者サービス」における市による状況分析	一部の施設が4か月間休館したものの、利用促進の取り組みを行った結果、例年と比べても遜色のない高い実績を出すことができた。				

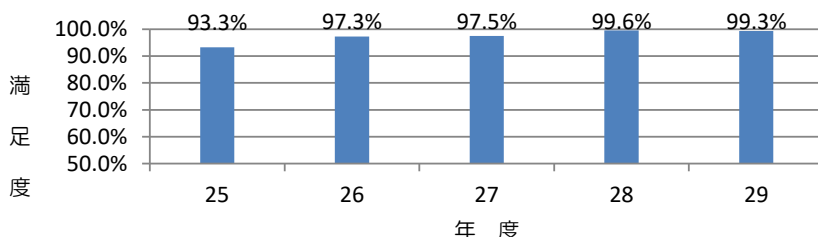
## (3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	70,181,000	70,780,000	70,680,000	77,351,176	70,400,000
	利用料金	29,740,871	31,697,108	32,658,454	25,040,822	32,717,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	0	2,050,300	5,021,106	8,116,298	9,490,000
合 計		99,921,871	104,527,408	108,359,560	110,508,296	112,607,000
イ 支出	人件費	37,410,229	38,037,963	39,177,549	42,894,408	41,528,000
	委託料 ( )内は総支出額 に占める委託料の割 合	18,327,078 (18.6%)	16,395,320 (15.7%)	16,395,320 (15.4%)	16,039,429 (14.6%)	16,953,000 (15.1%)
	その他経費	42,679,518	49,707,359	51,184,002	50,671,285	54,126,000
合 計		98,416,825	104,140,642	106,756,871	109,605,122	112,607,000
利用者一人当たりの支出額		855	847	862	984	—
ウ 収支差額		1,505,046	386,766	1,602,689	903,174	0
エ 市への納付金の額						
オ 徴収委託の場合 の徴収額		—	—	—	—	—
「収支状況」における 市による状況分析	収入においては利用料金、入場料いずれも計画値を上回る一方、施設の稼働率に伴う人件費支出が想定より増えてしまったが、例年通り収支も黒字で安定した経営ができています。					

### 3 目標管理、評価等

#### (1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	満足度	(設定理由) サービスを受ける側の意見を把握するための指標の一つとして考えられ、これにより施設のよりよい管理運営に努めるため。
	目標	95%以上	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	99.3%	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標を大幅に上回った。



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	特になし。
---------------------------------------	-------

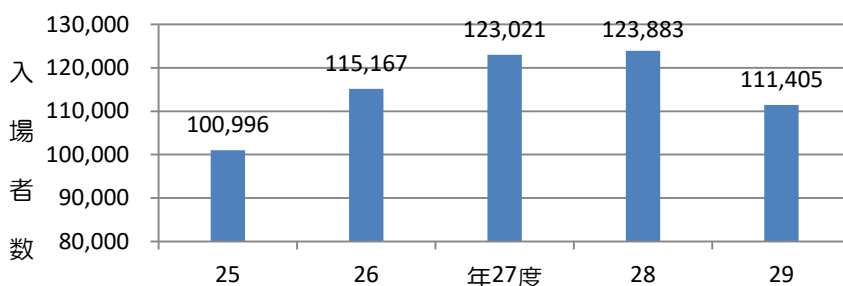
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	駐車場の無料サービス対象の拡大（施設利用時にも駐車場1時間無料券を配付）、照明の改善（照度を上げる）など、利用者要望に基づき対応を行った。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	S	A	
	具体的な理由	地域文化施設としての適正な運営を確保すべく積極的に市民の声を聴取し、分析を行い、その結果を貸館事業、文化芸術振興事業、自主事業に反映した。貸館事業においては、新たに無料の姿見（鏡）、ダンス用マット等を貸出サービスが好評いただいた。事業はアンケート結果を企画に反映したことにより、高い満足度を得ることができた。今後も高い水準を維持するため多くの意見を聴取し、運営に反映することとする。	丁寧な点検・修繕を行い、常に利用者の安全についても注意を払っていた。また、市への報告についても、適切に対応しており、適正な管理運営を行っている。 満足度については、市が求める目標値（90%以上）及び指定管理者の年度計画値（95%以上）を大きく上回っており、また昨年度に続き99%を超えており、高く評価することができる。	
対応策等	今後も引き続き、より多くのアンケートを回収するとともに、アンケート結果を運営や事業に反映し、更なる改善を実施していくこととする。	今後も利用者の意見や要望を積極的に汲み取り現状レベルの満足度の確保に努められたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの	

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者数	(設定理由) 施設の利用し易さ、または施設で行う事業の魅力を反映しやすい指標の一つとして考えられるため。
	目標	78,000人	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	111,405人	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標を大幅に上回った。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	館主催の事業実施に際しては、できるだけ稼働率の低い部屋を会場にし、市民の自主的な文化芸術活動を妨げないよう留意した。
--	--

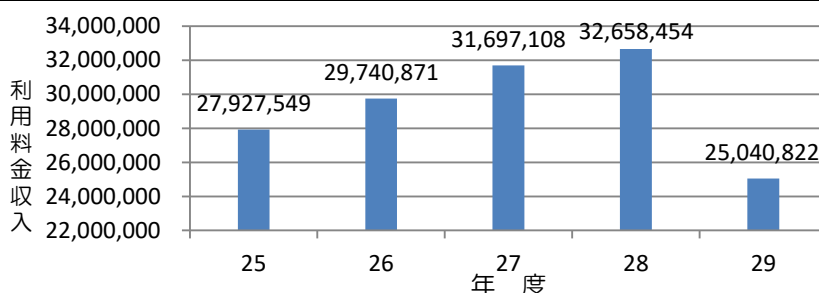
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	利用者からの要望で、扇風機、ファンヒーター、ブランケットの貸し出しを行い、好評をいただく。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A	A	A
	具体的な理由	今年度も西区の住民構成や市民ニーズを反映した多彩な事業の実施や未経験者を文化芸術活動に誘う事業が好評であり、その事業参加が新たな施設利用者となっていた。また、文化講座の参加者同士をつなぐことで新たな市民サークル(施設利用者)を生み出し、施設利用及び利用者数の増加を図った。	文化会館の利用の少ない子どもや子育て世代を対象とする事業を増加させたり、リピーター確保のために新たな活動サークルを作るよう計画したりなど、利用促進について分析を行い、その結果の対策が実を結び、目標を大きく上回る成果を導いたことは評価できる。	
対応策等	これまでの利用促進策を継続するとともに利用サークルの活動を維持できるよう更なる支援を実施する。また、広報活動も強化し、利用者数の増加を図る。	今後も創意工夫を行い、更なる利用者数の増加に努められたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 指定管理者において営業努力が反映されやすい指標の一つとして考えられるため。
	目標	22,577,000円	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	25,040,822円	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標を大幅に上回った。



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	広報活動の強化や新規利用団体の獲得を行った。
------------------------------------	------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	舞踊等を目的した利用に対応できる部屋の稼働率が高く、予約が取るのが困難とのことから、大型の姿見やダンス用のマットを購入し、無料に貸し出すことで、他の部屋でも舞踊等の利用が可能となった。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	A	
	具体的な理由	新たな利用者サービスを提供し、稼働率の低い部屋の利用用途を拡大したことで施設利用を増加させた。また、新規利用団体の開発を推進し、地域における新たな利用団体等（企業含む）を獲得するとともに、丁寧な舞台打合せを行い、利用者（主催者等）により質の高い演出等を提案することでホール及び付属設備等の利用増加を図った。	工事に伴い一部施設が4カ月間休館したものの、利用者要望から新たなサービスを展開し、目標を大きく上回る利用料金収入につながったことは評価できる。
対応策等	今後も新規利用団体の獲得を図る。また、設備、備品の経年劣化が目立つため、市と情報を共有し、該当設備・備品の適切な更新を行う。	更なる利用料金収入の増加をめざし、稼働率の低い特定の目的（窯、クッキングルーム等）の稼働率向上を図られたい。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの